

経営戦略2026を策定

市は、市長公約や行政評価の結果などを踏まえて、「経営戦略2026」を策定しました。
今後、この経営戦略に基づき、令和8年度の「予算編成」や「組織編成」などを進めていきます。
経営戦略2026の全文は、市ホームページでご覧になれます。



未来ビジョンの実現に向けて、
さらに発展するために

企画政策課・内線2688

4つの基本方針

令和8年度の経営戦略は、「市長公約」、「立川市第5次長期総合計画」等を踏まえ、以下の4点を政策横断的な視点で重視し、施策を推進します。

1 暮らしに安全とやすらぎを ～誰もがやさしさと成長を実感できるまちづくり～

- ・自然災害から市民を守るため防災・減災対策を強化するとともに、脱炭素や資源循環を進める。
- ・都市基盤（インフラ）を適切に管理。物価高の影響を踏まえ、国や東京都と連携し、支援策を地域の実情にあわせて展開。
- ・誰もが孤立せず支えあい、尊重しあえる地域の実現に向け、多様な主体と連携し、地域のつながりを育む。
- ・子どもの健やかな成長と市民の学びを支援し、やすらぎのある暮らしを目指す。



2 人もまちも挑戦し続ける ～つどいとつながりにより新しい価値を創造する魅力あふれるまちづくり～

- ・交通利便性や産業集積、自然環境を生かし、市民や事業者が挑戦しやすい環境を創出。
- ・地域コミュニティ活動や市民活動団体を支援し、「つどい」「つながり」から新たな価値や魅力を生み出す。
- ・文化・スポーツや交流イベントを通じてにぎわいを創出し、「出掛けたくなるまち」としての都市ブランドを高める。
- ・長期総合計画を推進の核とし、未来に希望を持てる活力と魅力あるまちづくりに挑戦し続ける。



3 連携と改革により時代を切り拓く ～市民に寄り添い、市民とともに未来へつむぐまちづくり～

- ・近隣自治体や民間事業者との広域・官民連携を強化し、効率的な施策を展開する。
- ・DX推進、公共施設マネジメントの最適化など、行財政改革を断行する。
- ・情報公開と説明責任を適切に果たし、「市民に寄り添い、市民とともに」未来を築く姿勢を貫く。
- ・財政規律を堅持し、持続可能な行財政基盤を確立して次の世代へ責任を持って継承する。



4 市役所業務改革の推進加速 ～市民サービス向上のために まず足元の環境を整える～

- ・職員が能力を発揮できるよう執務環境を整備し、質の高い市民サービスを持続的に提供。
- ・庁内ネットワークと内部情報系システムの更新を契機に業務基盤を抜本的に見直し、働き方を変革。
- ・デジタル技術導入やペーパーレス化を推進し、効率的な執務環境と情報共有体制を整備。
- ・非効率的な業務の廃止・見直しを行い、業務生産性を高め市民サービス向上へつなげる。



優しさと安心をカタチに 子育て・暮らしの笑顔あふれる予算編成にあたって

例年、秋口から、次年度の予算編成が本格化しますが、今回も4つの基本方針（上記事参照）を示し、作業を始めています。**本予算**（フルコースの予算）と**準骨格予算**（最低限+αの予算）を明確にし、課題の優先度を整理。

さらに市の財産の有効活用、サービスの提供方法を最適化、デジタル活用で業務の効率化、受益者負担にも取り組

み、無理や無駄をなくすよう指示しました。

また若手職員には新たなアイデアの提案を市長がじかに受ける**チャレンジ！提案枠**を設けます。より多くの市民の皆さんに納得いただき、**利便性**や**ゆとり**を感じられる**市政**を進めてまいります。

立川市長 **酒井大史**

